

芸術学科

芸術学への真摯なアプローチ

設置講座

講座番号 / 102-028

東京芸大コース

7月25日(月)~7月30日(土) / 9:30~16:30

藝大合格への最短ルート・造形学校「芸術学科・芸大コース」へ来たれ!

全国各大学の芸術学科・美学美術史学科の中でも、最も多様でかつ専門的な出題を課す東京藝大・芸術学科を志望する人を対象に、入試必須の英文和訳・歴史論述(日本史・世界史選択)と、選択科目である論文・デッサンについて、集中的に力を養う強化コース。7月下旬のコースでは、美術史関連の英文の読解、通史を基軸とした歴史論述、近代にテーマを当てた論文、基本的な描写力を中心とするデッサンの演習と解説を行います。7月26日(火)と7月29日(金)については選択授業となります。

月	日	曜日	カリキュラム			
7	25	月	英語 演習・歴史 演習	英語 演習・歴史 演習		
	26	火	選択/論文 演習またはデッサン	選択/論文 演習またはデッサン 講評		
	27	水	午前 英語 演習・英語 解説	午後 歴史 演習・歴史 解説		
	28	木	午前 英語 演習・英語 解説	午後 歴史 解説・英語 解説		
	29	金	選択/論文 解説またはデッサン	選択/論文 解説またはデッサン 講評		
	30	土	英語 解説・歴史 解説	藝大卒業生によるトーク&レクチャー		

講座番号 / 102-028

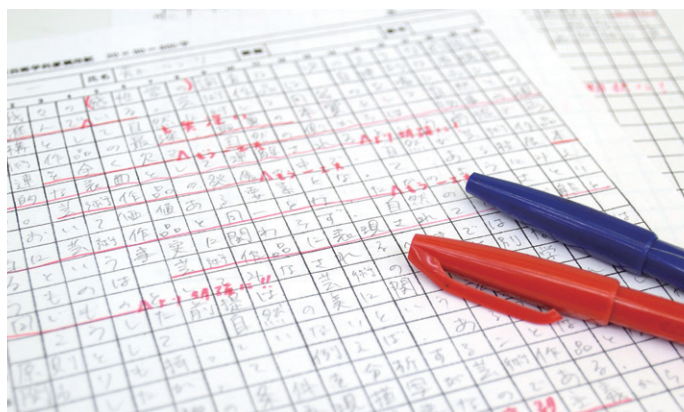
東京芸大コース

8月15日(月)~8月20日(土) / 9:30~16:30

夏を制してこそ実りの秋が来る。造形学校「芸術学科・芸大コース」で充実した夏を作ろう! 8月中旬のコースでは、コースの成果をふまえ、比較的難易度の高い美学関連の英文を読み解き、専門的知識を要する歴史の論述に取り組んでいく。論文では美学的思考を重視し、デッサンでは空間把握を重視して演習・解説を重ねていきます。

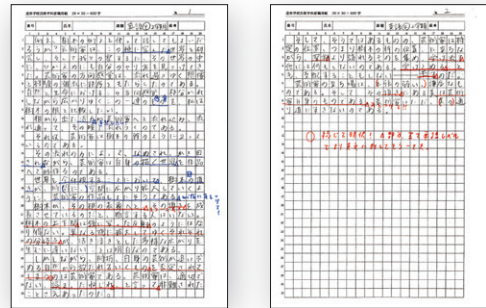
両コースとも藝大在学生によるトーク、現職芸員による特別講義をまじえて、2週間にわたる密度の濃い夏期講習会を練り上げていきます。8月16日(火)と8月19日(金)は選択授業となります。

月	日	曜日	カリキュラム			
8	15	月	英語 演習・歴史 演習	英語 演習・歴史 演習		
	16	火	選択/論文 演習またはデッサン	選択/論文 演習またはデッサン 講評		
	17	水	午前 英語 演習・英語 解説	午後 歴史 演習・歴史 解説		
	18	木	午前 英語 演習・英語 解説	午後 歴史 解説・英語 解説		
	19	金	選択/論文 解説またはデッサン	選択/論文 解説またはデッサン 講評		
	20	土	英語 解説・歴史 解説	特別講義 美学&美術史		



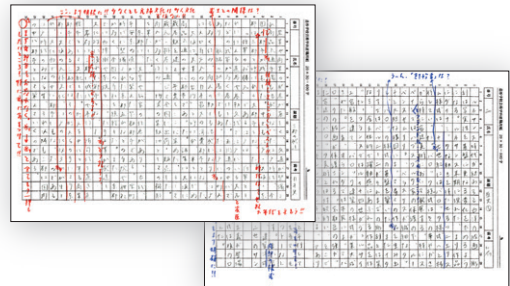
英語

美術史・美学の根幹を形づくる原書の講読。それは決してペダンティックな色合いのものではなく、芸術・美術に関する思考の幅を広げる有用な方法です。欧米人の手になる美術関連の著作は、現代の日本に生きるわれわれにとっても大いに刺激となります。そうした英文の内容を汲み、どこまでの確かな日本語に翻訳できるか。芸術学で求められる「英文和訳」は単なる英文解釈にとどまらない感性的表現なのです。



歴史

個々の天才たちによって創り出される芸術作品。しかし優れた作品というものは決して一個人の力量にとどまるものではありません。その背景には人類の歩みの滔々たる流れがあります。文化史を基軸に、作品・作者・社会の関係をダイナミックに捉え直すためにも、歴史的思考と論述は芸術学にとって不可避の課題。教科書ベースの必要不可欠な知識を基に「考え、かつ記す」という地道な作業から、芸術・美術に関する深い思索が生まれるのです。



論文

言葉の届かぬ先に絵画が、音楽がある。よく言われることながら本当でしょうか。絵画を、音楽を、理解し記述し得る言葉を、多くの人はまだ見つけていないとは言えないでしょうか。芸術学の論文の中心は造形作品の特質を記述することにあります。「造形的特質」の記述。そのための言葉と感性を育むこと。作品に対する深い理解は必ず言葉を伴うものです。そうした言葉の積み重ねによって、自らの感性も思いがけない広がりを持つのです。

